

2020年6月30日

## 県内景況

株式会社 鹿児島銀行  
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が一進一退となっているものの、投資関連がやや弱含み、雇用情勢が弱含み、消費関連が低下しているほか、観光関連が悪化するなど、全体として極めて弱まっている。

生産活動は、3月の鉱工業生産指数が2か月連続で前年を上回った。電子部品関連は、一部で回復の動きが見られるが、今後新型コロナウイルス感染症や米中対立の影響が懸念される。食品関連では、畜産が低下している。個人消費関連は新型コロナウイルス感染症の影響などにより低下している。投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。主要ホテル・旅館宿泊客数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、鹿児島・霧島・指宿の3地区合計で、13か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を下回った。

### 【生産活動】... 一進一退

**電子部品関連**は、一部で回復の動きが見られるが、今後新型コロナウイルス感染症や米中対立の影響が懸念される。

4月の**焼酎**生産は8か月連続で前年を下回り、出荷量は7か月連続で前年を下回った。

3月の**かつお節**生産は、5か月連続で前年を上回った。

5月の**生コン**生産（出荷量）は、公共工事向けが前年を上回ったものの、民間工事向けが前年を下回り、全体では3.9%減と6か月ぶりに前年を下回った。

5月の**紙パルプ**生産は、13か月ぶりに前年を上回った。

**木材**関係は、製品相場がスギ、ヒノキともに前年を下回った。

### 【畜産関連】 ... 低下

5月の子牛の出荷頭数は前年を下回り、価格も前年を下回った。5月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4、A3ともに前年を下回った。4月の枝肉生産量は前年を下回った。

5月の豚肉相場は前年を上回った。4月の枝肉生産量は前年を上回った。

5月のブロイラー相場は、もも肉、むね肉ともに前年を上回った。5月の処理羽数は前年を下回った。

5月の鶏卵相場は前年を下回った。

### 【消費関連】 ... 低下

4月の百貨店・スーパー販売は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回り、全体では2か月連続で前年を下回った。4月の専門量販店販売額は2か月ぶりに前年を上回り、1.8%増となった。足もとでは厳しい状況が続いているものの、緊急事態宣言の解除に伴い、下げ止まりつつある。

5月の乗用車新車販売台数は、8か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は51.2%減、小型車が27.6%減となった。

5月の軽自動車は8か月連続で前年を下回った。

### 【観光関連】 ... 悪化

5月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込み、13か月連続で前年を下回った。鹿児島地区は全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込んだことなどにより、7か月連続で前年を下回った。霧島地区は全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込んだことなどにより、11か月連続で前年を下回った。指宿地区は全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込んだことなどにより、17か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は個人、団体客ともに減少し、3か月連続で前年を下回った。

5月の主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を下回った。

### 【投資関連】... やや弱含み

5月の公共工事は、件数は前年を下回り、請負金額は前年を上回った。4月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を下回った。4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも前年を下回り、全体で19.3%減と10か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、10.9%減となった。

4月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3か月ぶりに前年を上回った。

### 【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を下回った

4月の輸出額はパルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を下回り、全体で0.9%減と2か月連続で前年を下回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を下回り、全体で12.4%減と2か月連続で前年を下回った。

### 【雇用情勢】... 弱含み

4月の有効求人倍率は前月を0.05ポイント下回る1.15倍となった。

### 【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

4月の県内金融機関の貸出金残高は前年を2.7%上回った。

### 【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

5月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が7件で前年同月（3件）を上回り、負債総額は65億31百万円で前年同月（2億53百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)